

令和 7 年度 明石市生ごみ処理機等購入助成事業

対象者事後アンケート結果について

明石市では、循環型社会の実現のため、『ゼロ・ウェイストあかし』を合言葉に、ごみの減量・再資源化に向けたさまざまな取組を実施しています。そのなかで、令和7年度に実施した「家庭用生ごみ処理機等購入助成事業」において、助成金を交付した世帯を対象に、生ごみ処理機の利用状況や生ごみの減量効果等にかかるアンケート調査を実施しました。

1 事業概要

市民の環境に対する関心を高め、家庭から排出される生ごみの減量化・再資源化を図ることを目的とし、家庭用生ごみ処理機等の購入に要する費用の一部を助成することで、生ごみの自家処理を推進するものです。

申請期間	2025 年(令和 7 年)8月 1 日～2025 年(令和 7 年)11月 30 日
請求期間	2025 年(令和 7 年)9 月 1 日～2026年(令和8年)2 月28日
対象者	明石市民(事業者は除く)
対象機器	① 電動式生ごみ処理機(たい肥の生成や乾燥による生ごみ再資源化・減量機器) ② 生ごみ処理容器等(コンポスト等生ごみ処理容器等)
助成金額	① 購入費用の 1/2(上限 30,000 円) ② 購入費用の 1/2(上限 5,000 円) ※ 消費税を除く購入金額(本体価格)が対象
申請方法	・電子申請(Logo フォーム) ・郵送、FAX、持ち込み

2 事業実績

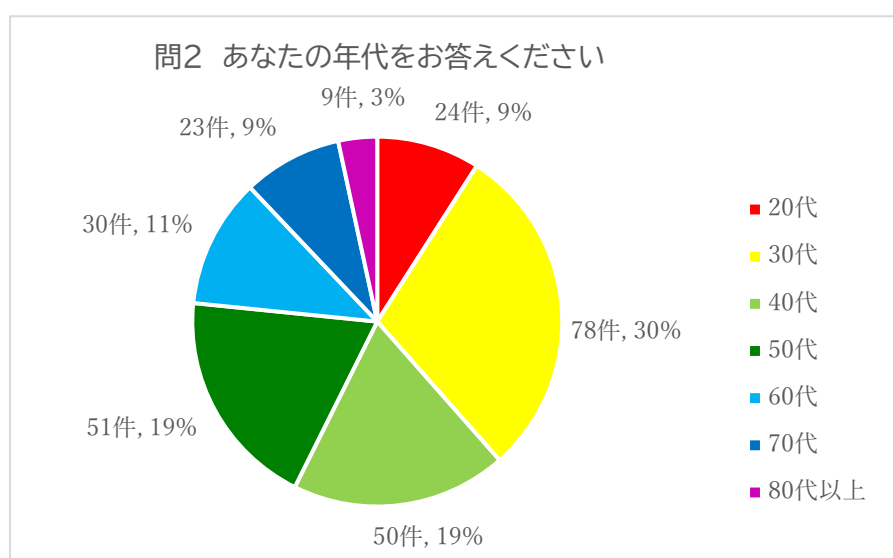
- ・申 請 者 : 286 名(電子申請262 名、郵送等申請 24 名)
- ・交 付 対 象 者 : 265 名(電子申請242 名、郵送等申請 23 名)
- ・助 成 金 額 : 5,337,100 円
 - ①電動式生ごみ処理機 234 件 5,241,500円
 - ②生ごみ処理容器等 31 件 95,600 円

3 アンケート結果

【調査概要】

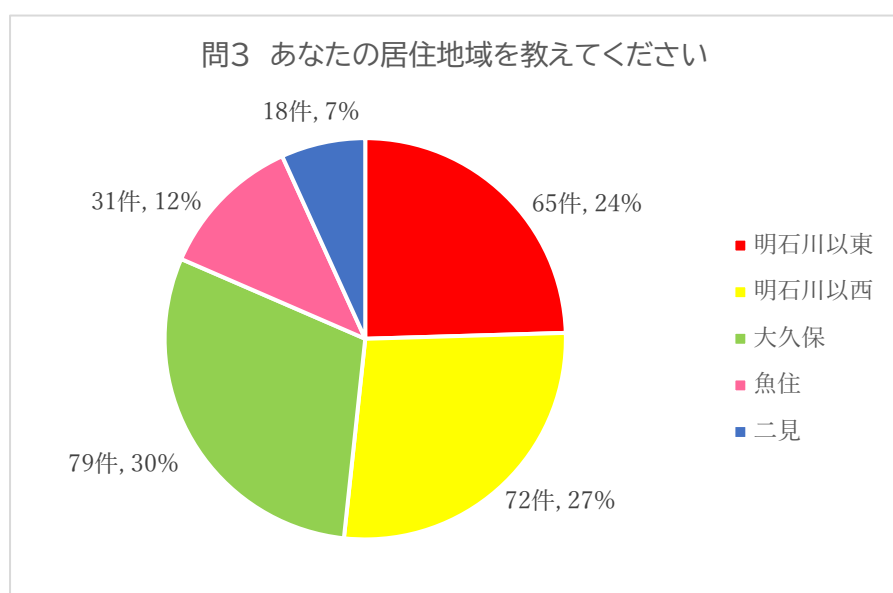
- ・調査期間：2026年(令和8年)3月13日～2026年(令和8年)4月30日
- ・調査方法：郵送によるアンケート用紙送付
- ・回答方法：電子回答・郵送回答
- ・調査対象者数：265名
- ・回答数(回答率)：265名(100%)

【調査結果】



【問2】

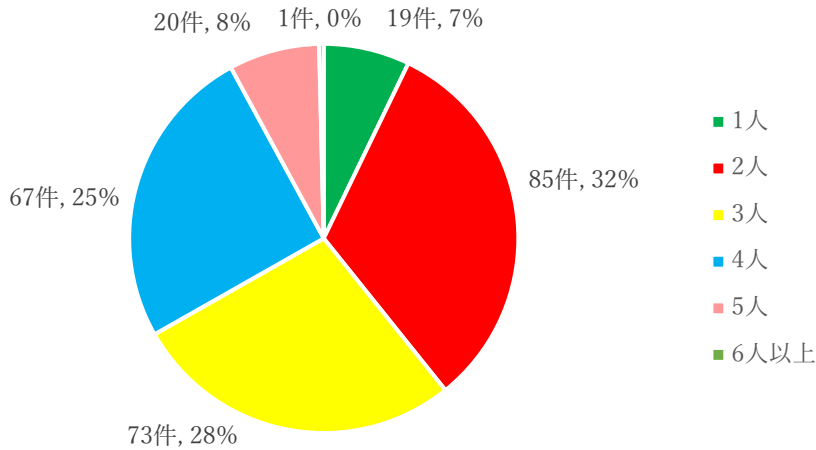
30代が30%と1番多く、次いで、40・50代が19%と多い。また、20代・70代・80代以上は、10%以下で少ない。



【問3】

魚住地域12%、二見地域7%と少ないが、他の地域では、大きな偏りは見られない。

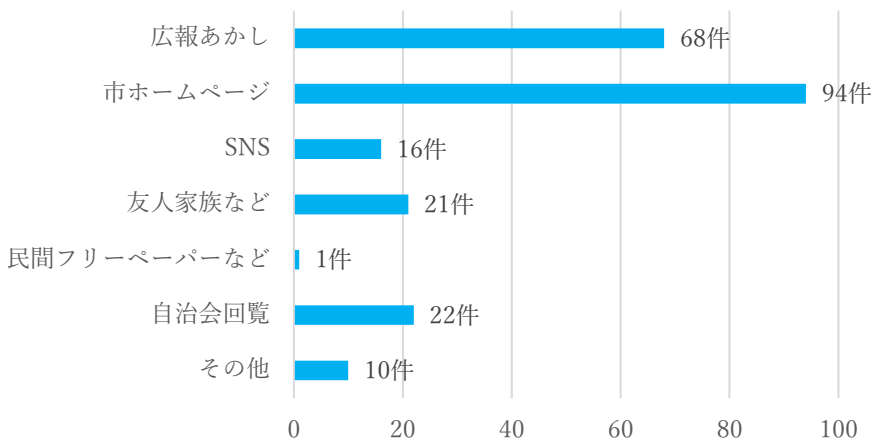
問4 世帯の人数をお答えください



【問4】

単身世帯は7%と少なく、世帯人数2～4人が約9割を占めている。

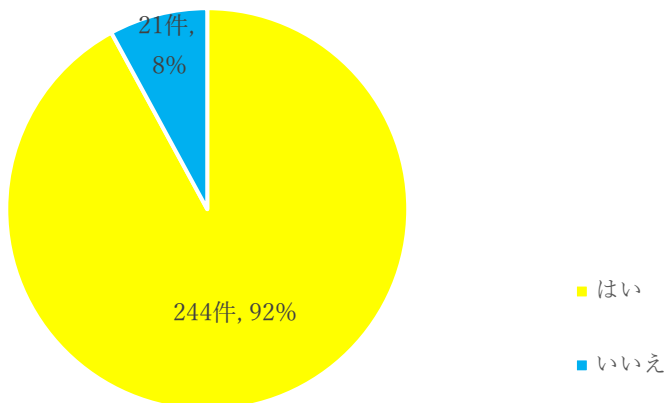
問5 本助成制度に関する情報は何かから得ましたか(複数回答可)



【問5】

本助成制度に関する情報収集は「市ホームページ」、「広報あかし」が多数を占めている。

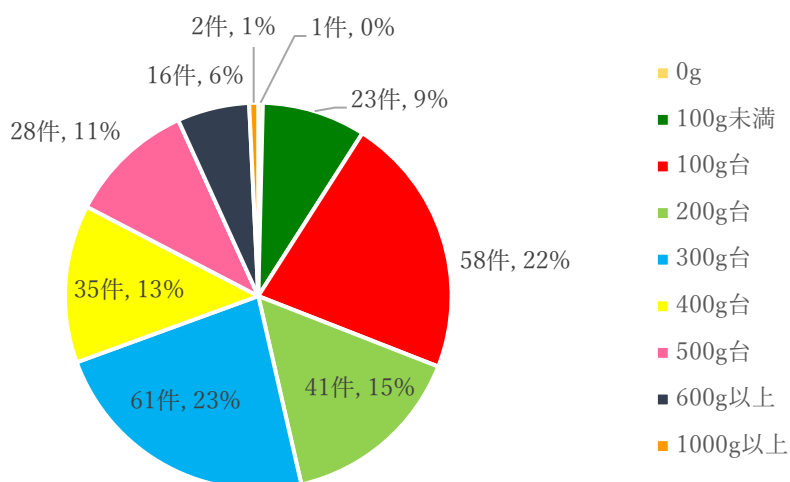
問6 生ごみ処理機等を購入したのは初めてですか



【問6】

令和7年度に初めて生ごみ処理機を購入された方が 92%を占めている。

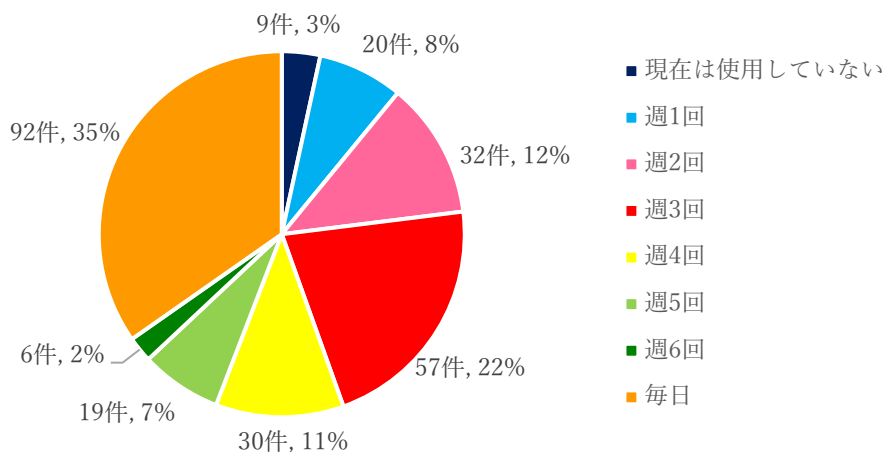
問7 生ごみ処理機に投入する生ごみ量(1日あたり)を入力してください



【問7】

生ごみ処理機に投入する生ごみ量(1日あたり)は100～400g台で73%と大半を占めている。

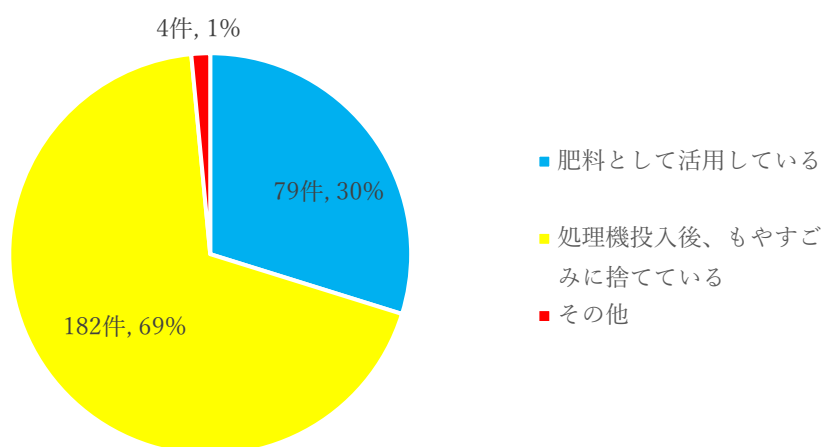
問8 1週間で生ごみ処理機を使用する回数をお答えください



【問8】

生ごみ処理機を毎日使用している方が最も多く、35%を占めている。次いで、週3回が22%と多い。

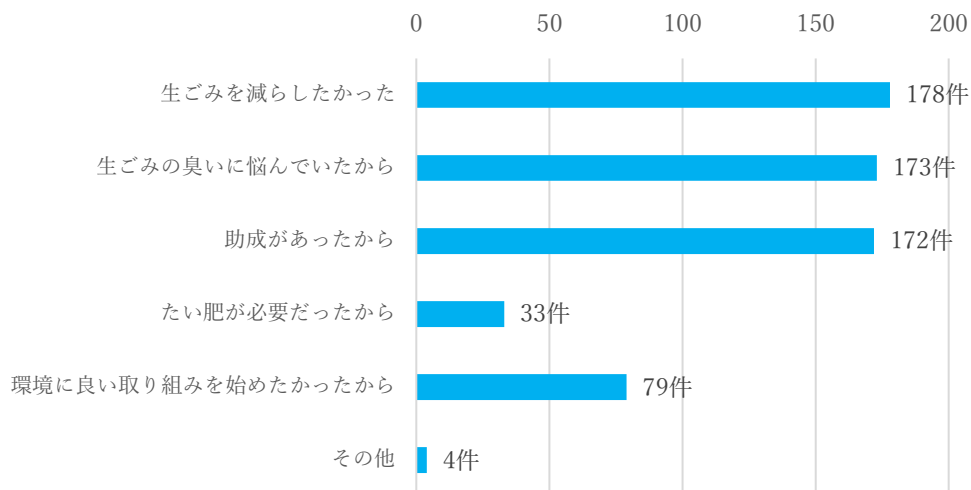
問9 生ごみ処理機を使用後、どのように処理していますか



【問9】

生ごみ処理機投入後、もやすごみに捨てている方が69%、肥料として活用している方が30%を占めている。

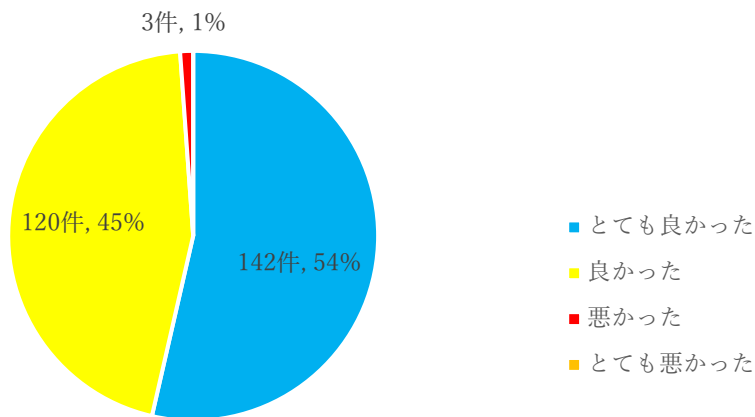
問10 生ごみ処理機等を購入した理由をお答えください(複数回答可)



【問10】

生ごみ処理機を購入した理由として、「生ごみを減らしたかった」、「生ごみの臭いに悩んでいたから」、「助成があったから」と回答した方が多い。

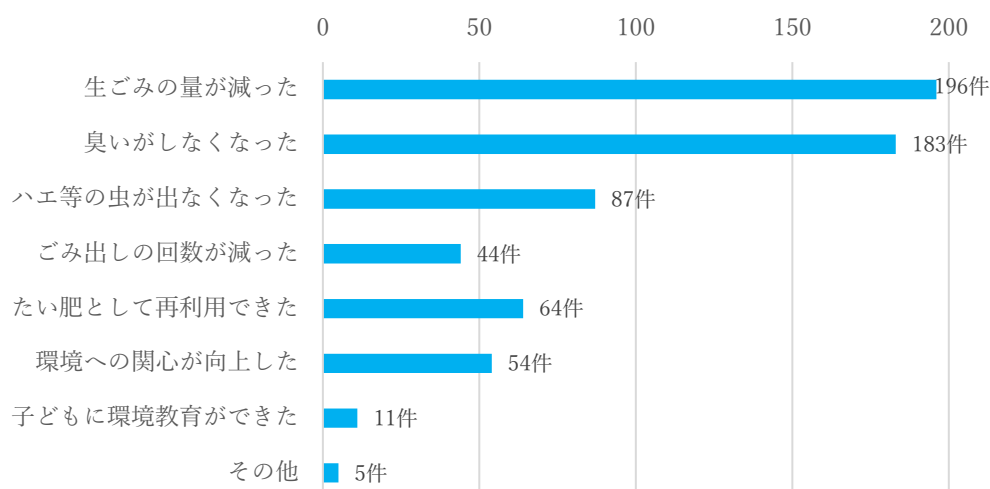
問11 生ごみ処理機を使用して、どう思いましたか



【問11】

生ごみ処理機を使用して、「とても良かった」、「良かった」との意見が99%を占めている。

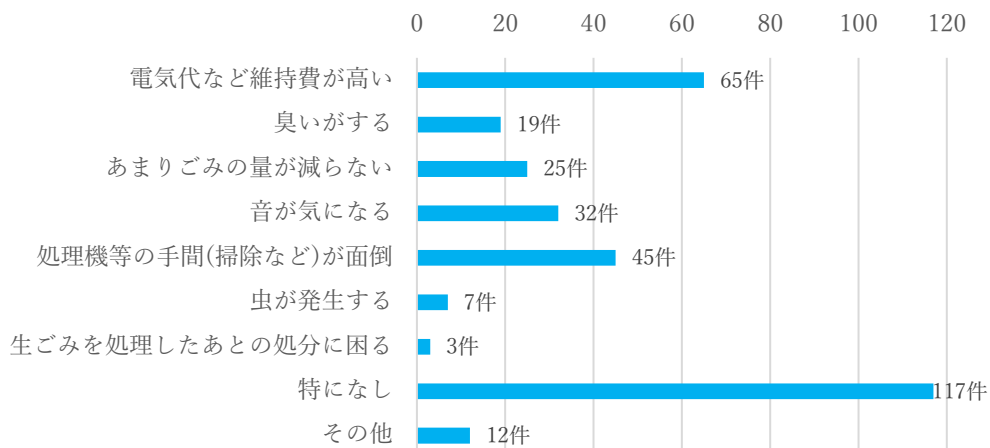
問12 生ごみ処理機を使用して良かった点をお答えください(複数回答可)



【問12】

「生ごみの量が減った」、「臭いがしなくなった」の意見が多数を占めている。次いで、「ハエ等の虫が出なくなった」、「たい肥として再利用できた」との意見も多い。

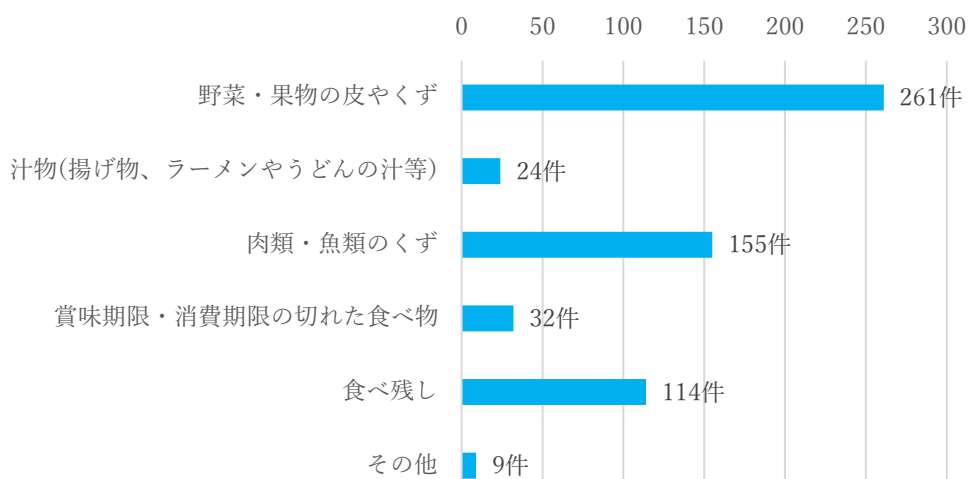
問13 生ごみ処理機を使用していて、悪かった点をお答えください
(複数回答可)



【問13】

「電気代など維持費が高い」「処理機等の手間(掃除など)が面倒」の意見も多かったが、悪かった点は「特になし」との意見が多数を占めている。

問14 生ごみ処理機に入れるものはどのようなものですか(複数回答可)



【問14】

生ごみ処理機に投入しているものとして「野菜・果物のくず」が多く、次いで、「肉類・魚類のくず」、「食べ残し」と回答した方も多い。

4 ごみの減量効果について(推計)

問7(1日あたりの生ごみ処理機への投入量)、問8(1週間あたりの処理回数)、問9(生ごみ処理機使用後の処理方法※)の回答結果をもとに、ごみの減量効果を推計しました。

※ 生ごみ処理機の使用によるごみの減量率を下記の通り仮定する

- ① たい肥化する場合 100%
- ② もやすごみに出す場合 70%

	投入量/日×投入回数/週	投入量/週×減量率(%)	合計(全世帯)
① たい肥化 (80世帯)	約102kg	約102kg	約289kg
② もやすごみ (185世帯)	約267kg	約187kg	

※ 問9のその他4件については、1件が[たい肥化]、3件は[もやすごみ]に計上

1世帯あたりの生ごみ減量効果(1週間平均)

$$\underline{\text{約 } 289 \text{ kg} \div 265 \text{ 世帯} = \text{約 } 1.09 \text{ kg/週}}$$

1年間の生ごみ減量効果(推計)

$$\underline{\text{約 } 1.09 \text{ kg} \times 265 \text{ 世帯} \times 52 \text{ 週} = \text{約 } 15.0 \text{ t/年}}$$

1年間で、約15t/年の生ごみが減量できると見込まれます。